

令和4年度
草津市のまちづくりについての
市民意識調査結果報告書

草津市

目次

1. 調査概要	1
2. 調査結果	2
(1) 回答者属性	2
①性別	
②年齢	
③居住年数	
④転入歴	
⑤居住地区	
(2) 基本方針別にみる満足度評価	5
①「こころ」育むまちの基本方針	
②「笑顔」輝くまちの基本方針	
③「暮らし」支えるまちの基本方針	
④「魅力」あふれるまちの基本方針	
⑤「未来」への責任の基本方針	
(3) 基本方針別にみる重要度評価	10
①「こころ」育むまちの基本方針	
②「笑顔」輝くまちの基本方針	
③「暮らし」支えるまちの基本方針	
④「魅力」あふれるまちの基本方針	
⑤「未来」への責任の基本方針	
(4) 基本方針別にみる満足度と重要度	15
①「こころ」育むまちの基本方針	
②「笑顔」輝くまちの基本方針	
③「暮らし」支えるまちの基本方針	
④「魅力」あふれるまちの基本方針	
⑤「未来」への責任の基本方針	
(5) まちの住み心地や日常の生活行動など	20
①まちの住み心地など	
②日常の生活行動など	
③市民であることの誇りや定住意向	
(6) SDGs（持続可能な開発目標）	24
SDGs（持続可能な開発目標）の17の目標への関心	

1. 調査概要

【調査目的】

令和3年度から開始した第6次草津市総合計画第1期基本計画における、市の取組に対する市民意識を確認し、市政運営の参考とすることを目的とする。

【調査対象者】

市民 3,000 人

【選定方法】

住民基本台帳の18歳以上の者から、年齢、居住地域の2段階による層化無作為抽出とした。

【抽出条件】

抽出基準日：令和5年1月1日（日）

【調査方法】

調査は無記名とし、令和5年2月1日（水）から2月20日（月）までを調査期間として、郵送およびインターネットにより実施した。

【回収状況】

有効回答数 952 件、有効回答率 31.7%を得た。有効回答のうち、紙の調査票による回答が 605 件で 63.6%、ネットによる回答が 347 件で 36.4%であった。

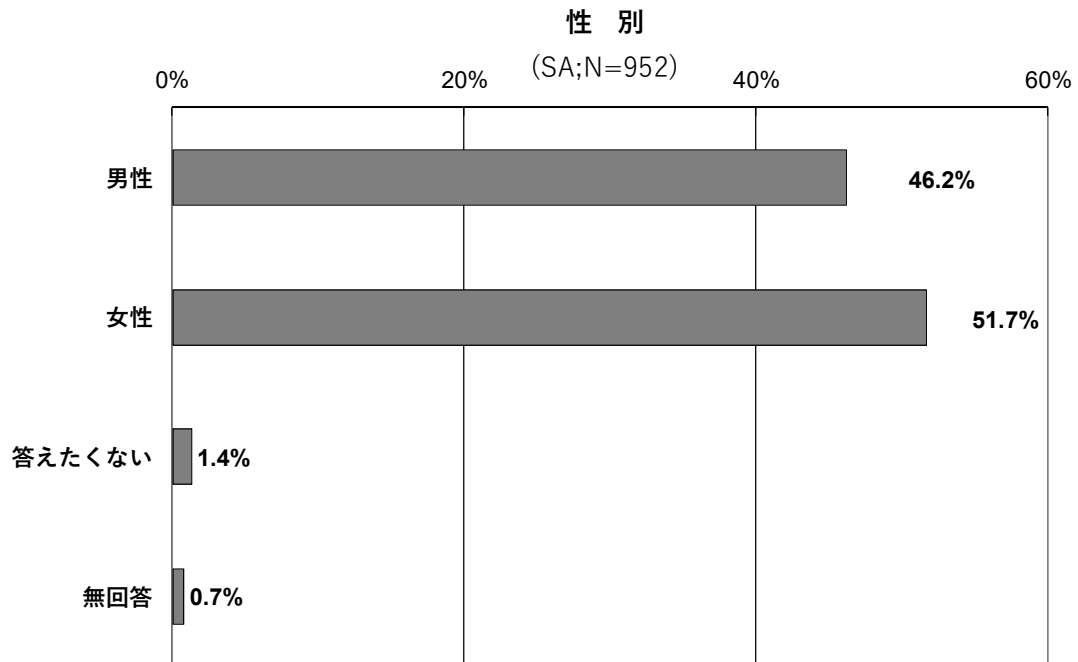
調査結果の表記について：百分率については、調査の有効回答（N）を基数として算出している。小数点第2位以下を四捨五入しているため、それぞれの数字の合計が必ずしも100.0%にならない。また、グラフ内に示した記号のうち SA は単数回答、MA は複数回答を示す。

2. 調査結果

(1) 回答者属性

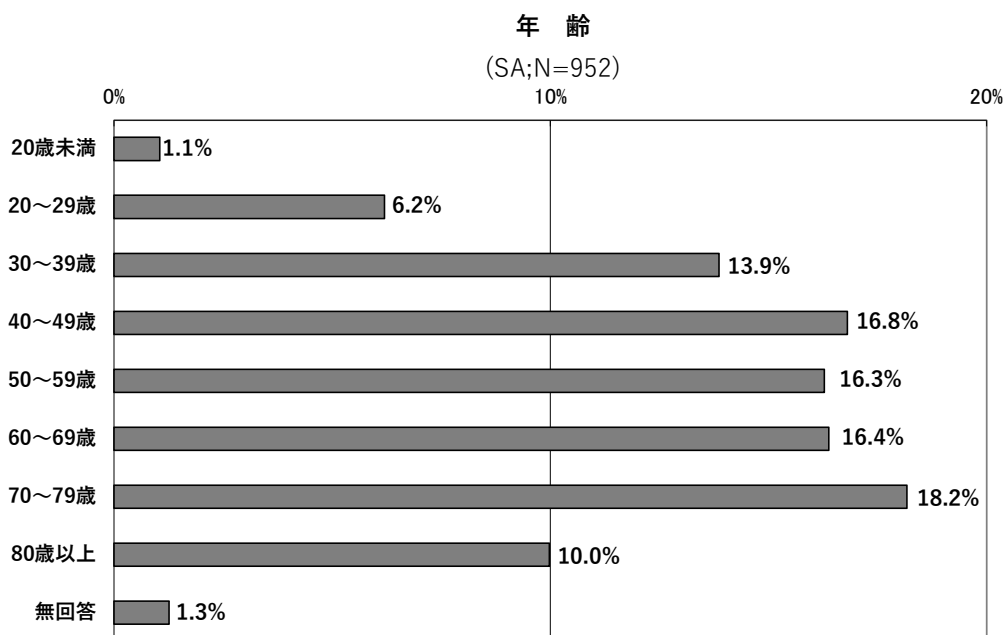
①性別

「男性」が46.2%、「女性」が51.7%、「答えたくない」が1.4%となっています。



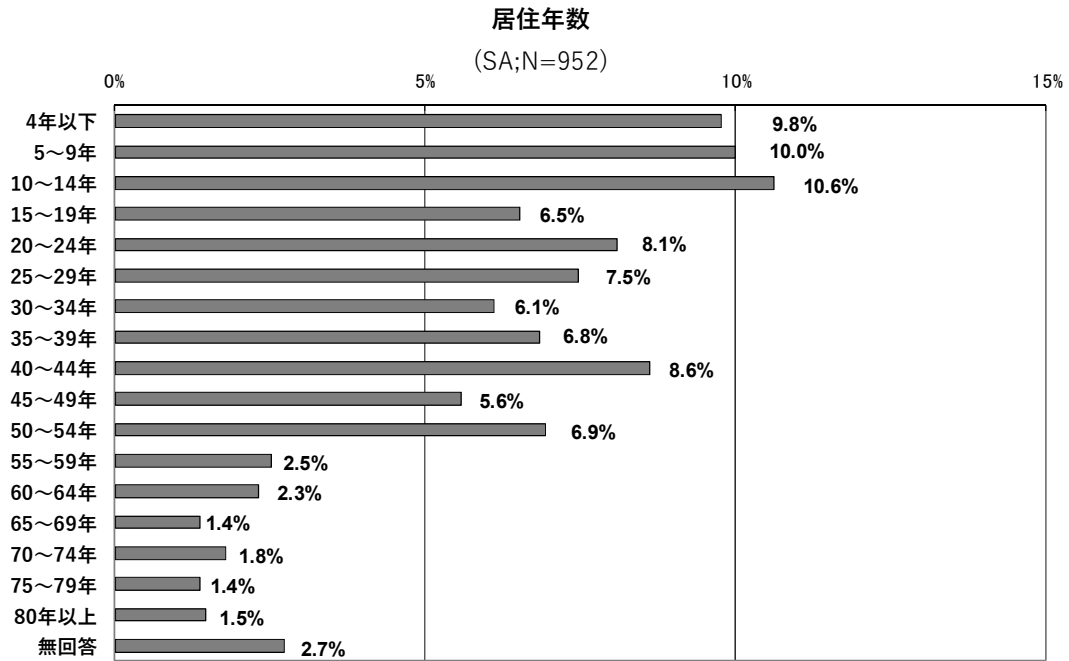
②年齢

「70～79歳」が最も多く18.2%、次いで「40～49歳」が16.8%、「60～69歳」が16.4%などとなっています。



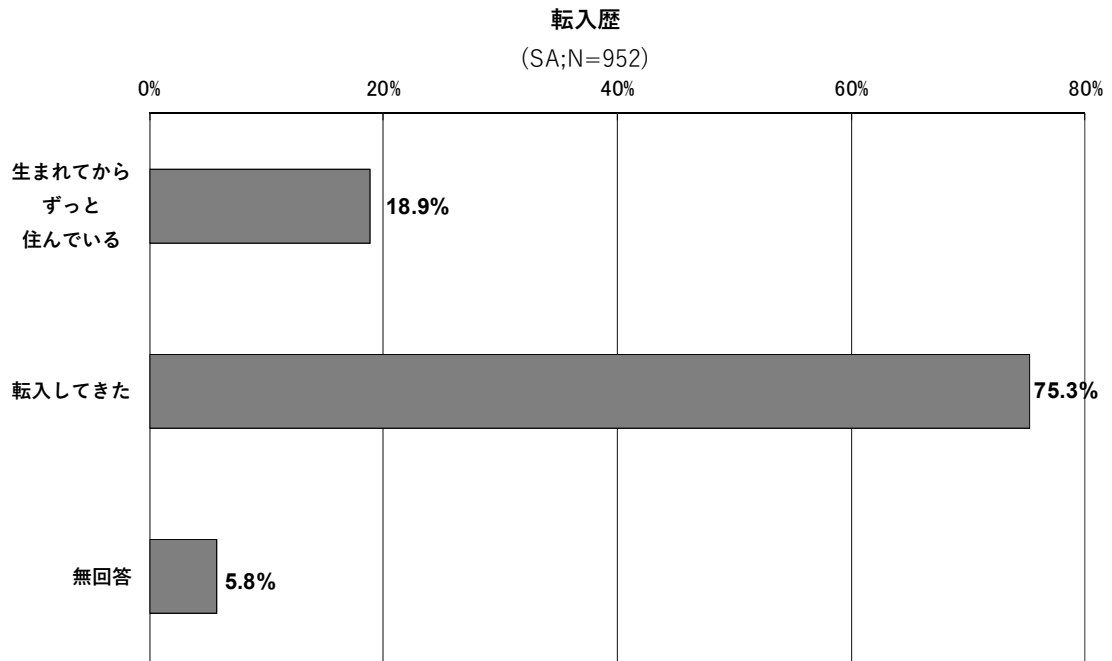
③ 居住年数

「10～14年」が最も多く10.6%、次いで「5～9年」が10.0%、「4年以下」が9.8%、「40～44年」が8.6%などとなっています。



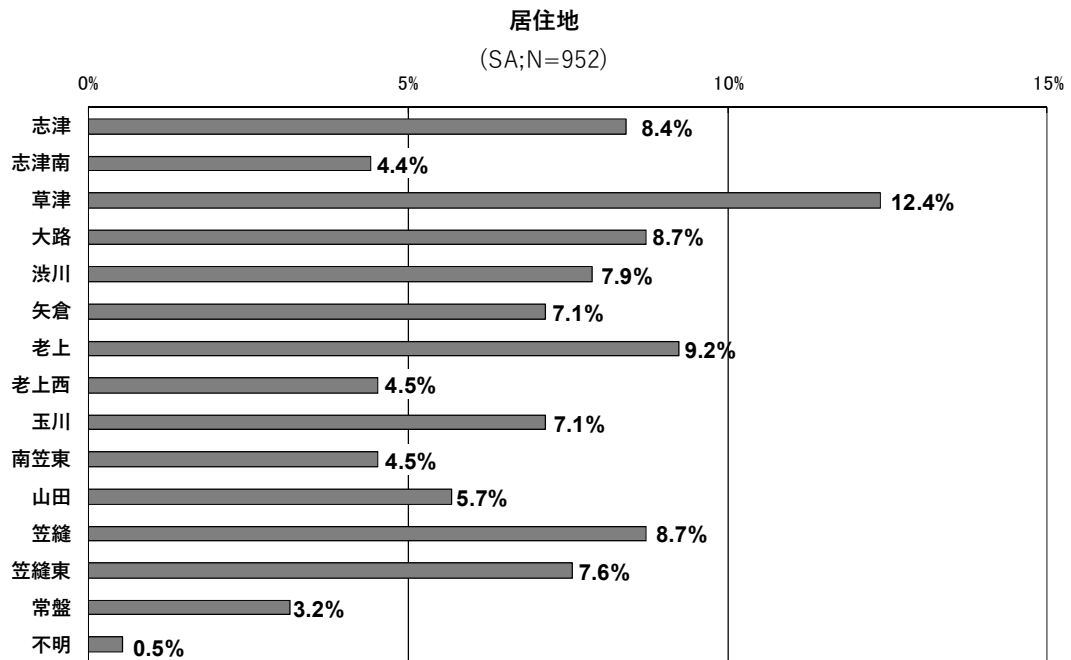
④ 転入歴

「生まれてからずっと住んでいる」が18.9%、「転入してきた」が75.3%となっています。



⑤居住地区

「草津」が最も多く 12.4%、次いで「老上」が 9.2%、「大路」と「笠縫」が 8.7%などとなっています。



(2) 基本方針別にみる満足度評価

①「こころ」育むまちの基本方針

「満足」は「人権の尊重」が最も多く 11.1%、次いで「文化財の保存と活用」が 9.0%などとなっています。

「やや満足」は「スポーツの充実」が最も多く 19.2%、次いで「子どもの生きる力を育む教育の推進」が 16.6%などとなっています。

「普通」は「男女共同参画社会の構築」が最も多く 51.8%、次いで「文化・芸術の振興」が 51.6%などとなっています。

「やや不満」は「学校の教育力の向上」が最も多く 12.2%、次いで「子どもの生きる力を育む教育の推進」が 10.7%などとなっています。

「不満」は「学校の教育力の向上」が最も多く 8.1%、次いで「子どもの生きる力を育む教育の推進」が 5.4%などとなっています。

「わからない」は「学校の教育力の向上」が最も多く 22.7%、次いで「子どもの生きる力を育む教育の推進」が 20.6%などとなっています。



加重平均について：「満足 (2)」「やや満足 (1)」「普通 (0)」「やや不満 (-1)」「不満 (-2)」の加重評点を与えて平均点を求めたものである。

②「笑顔」輝くまちの基本方針

「満足」は「市民の健康づくり」が最も多く 12.9%、次いで、「医療保険制度の適正運用」が 10.5%などとなっています。

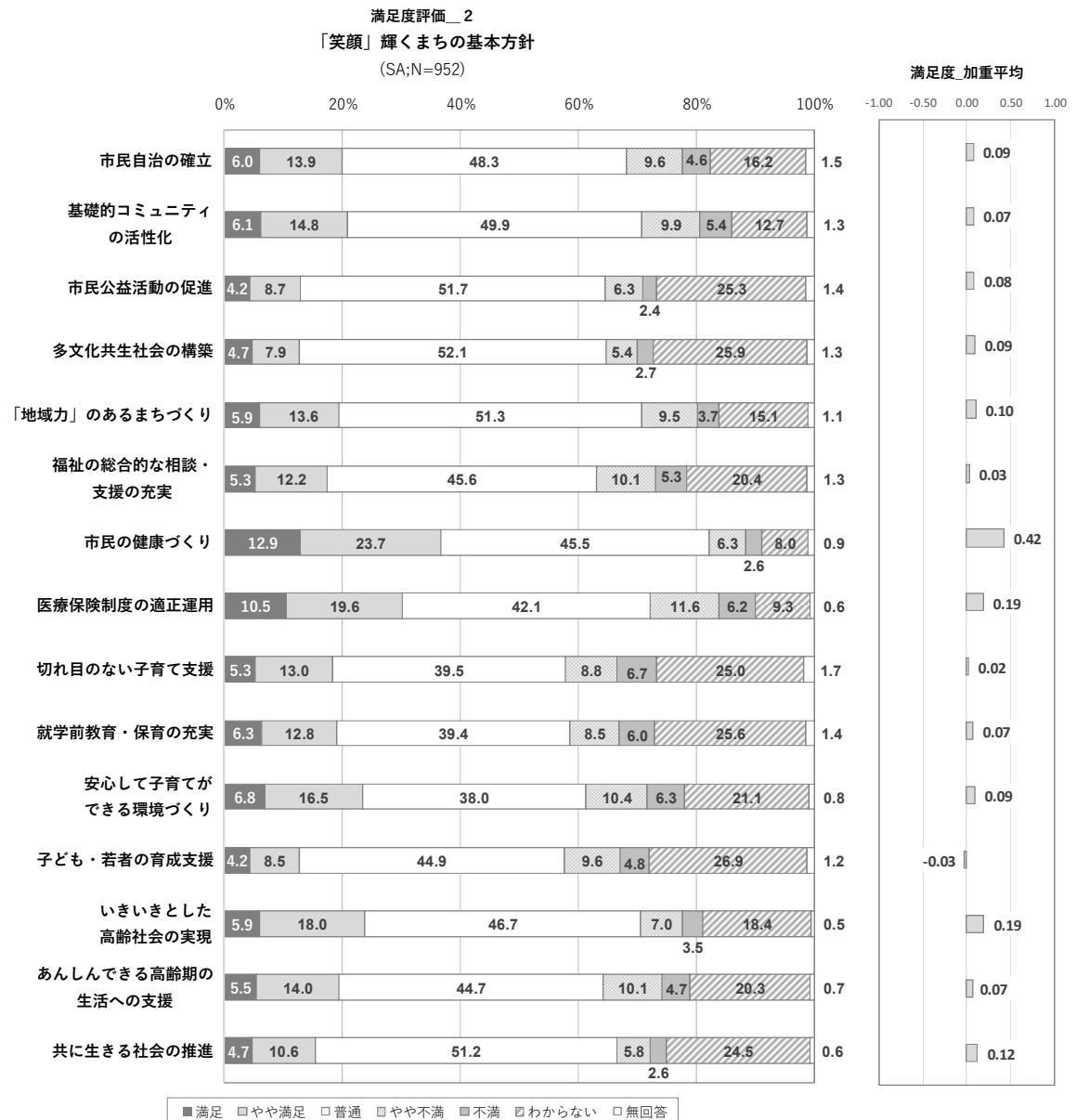
「やや満足」は「市民の健康づくり」が最も多く 23.7%、次いで「医療保険制度の適正運用」が 19.6%などとなっています。

「普通」は「多文化共生社会の構築」が最も多く 52.1%、次いで「市民公益活動の促進」が 51.7%などとなっています。

「やや不満」は「医療保険制度の適正運用」が最も多く 11.6%、次いで「安心して子育てができる環境づくり」が 10.4%などとなっています。

「不満」は「切れ目のない子育て支援」が最も多く 6.7%、次いで「安心して子育てができる環境づくり」が 6.3%などとなっています。

「わからない」は「子ども・若者の育成支援」が最も多く 26.9%、次いで「多文化共生社会の構築」が 25.9%などとなっています。



③「暮らし」支えるまちの基本方針

「満足」は「水の安定供給」が最も多く 19.6%、次いで「下水道の安定運営」が 17.4%などとなっています。

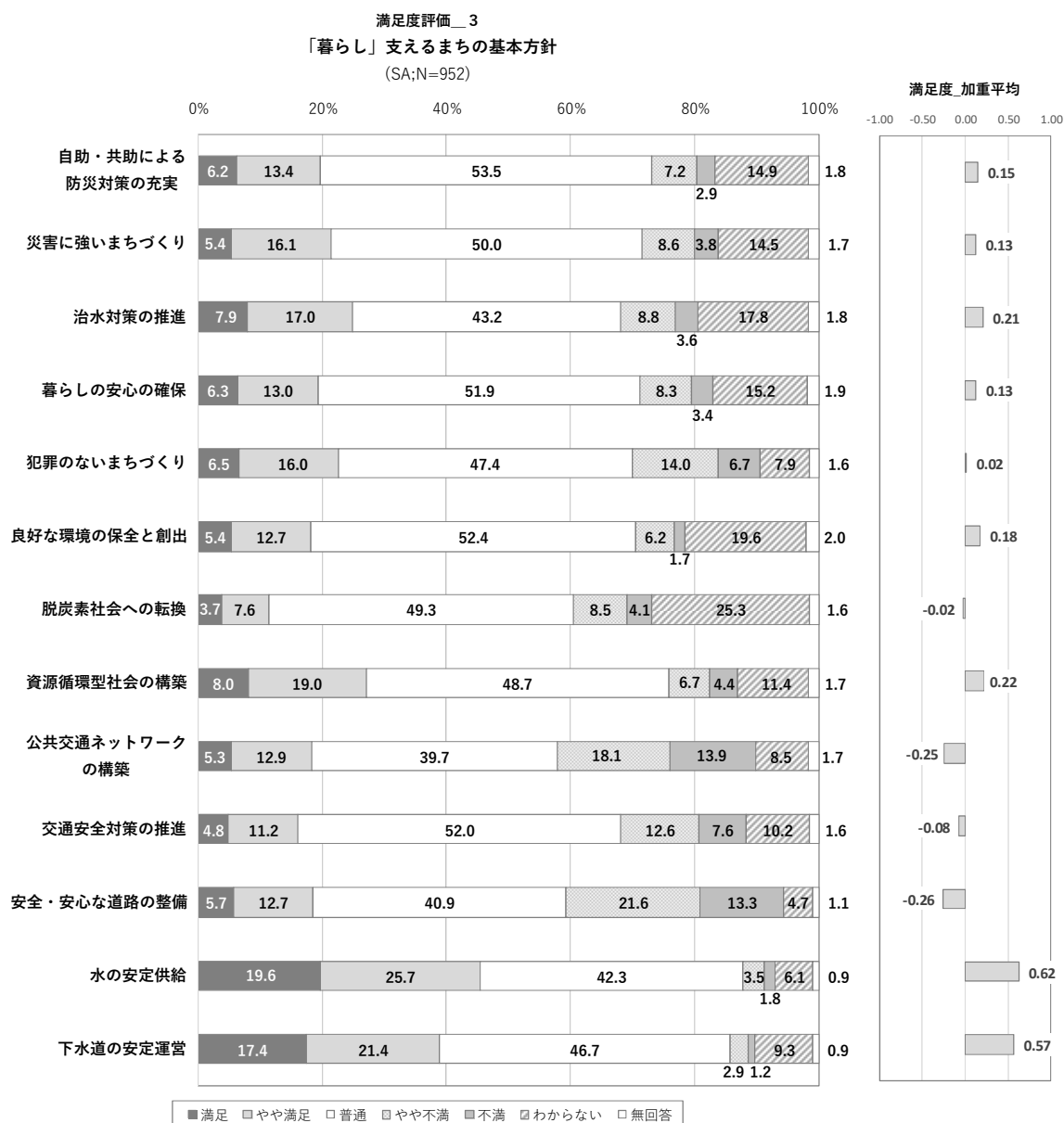
「やや満足」は「水の安定供給」が最も多く 25.7%、次いで「下水道の安定運営」が 21.4%などとなっています。

「普通」は「自助・共助による防災対策の充実」が最も多く 53.5%、次いで「良好な環境の保全と創出」が 52.4%などとなっています。

「やや不満」は「安全・安心な道路の整備」が最も多く 21.6%、次いで「公共交通ネットワークの構築」が 18.1%などとなっています。

「不満」は「公共交通ネットワークの構築」が最も多く 13.9%、次いで「安全・安心な道路の整備」が 13.3%などとなっています。

「わからない」は「脱炭素社会への転換」が最も多く 25.3%、次いで「良好な環境の保全と創出」が 19.6%などとなっています。



④「魅力」あふれるまちの基本方針

「満足」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く 12.9%、次いで「中心市街地の活性化」が 6.5%などとなっています。

「やや満足」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く 29.8%、次いで「ガーデンシティの推進」が 18.4%などとなっています。

「普通」は「良好な景観の保全と創出」が最も多く 55.4%、次いで「まちづくり情報の提供の充実」が 55.3%などとなっています。

「やや不満」は「観光の振興」が最も多く 12.8%、次いで「中心市街地の活性化」が 11.7%などとなっています。

「不満」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く 6.1%、次いで「中心市街地の活性化」と「観光の振興」が 5.6%などとなっています。

「わからない」は「水産業の振興」が最も多く 30.6%、次いで「工業の振興」が 27.9%などとなっています。



⑤ 「未来」への責任の基本方針

「満足」は「職員力の向上」が最も多く 5.9%などとなっています。

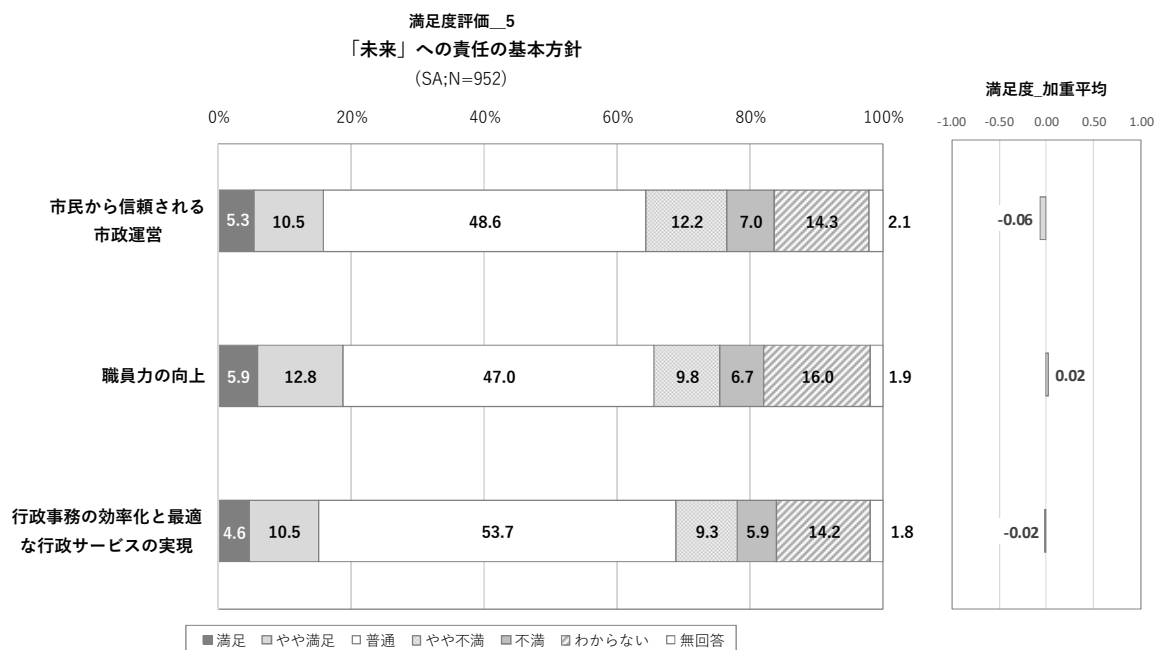
「やや満足」は「職員力の向上」が最も多く 12.8%などとなっています。

「普通」は「行政事務の効率化と最適な行政サービスの実現」が最も多く 53.7%などとなっています。

「やや不満」は「市民から信頼される市政運営」が最も多く 12.2%などとなっています。

「不満」は「市民から信頼される市政運営」が最も多く 7.0%などとなっています。

「わからない」は「職員力の向上」が最も多く 16.0%などとなっています。



(3) 基本方針別にみる重要度評価

①「こころ」育むまちの基本方針

「思う」は「学校の教育力の向上」が最も多く 55.3%、次いで「子どもの生きる力を育む教育の推進」が 51.3%などとなっています。

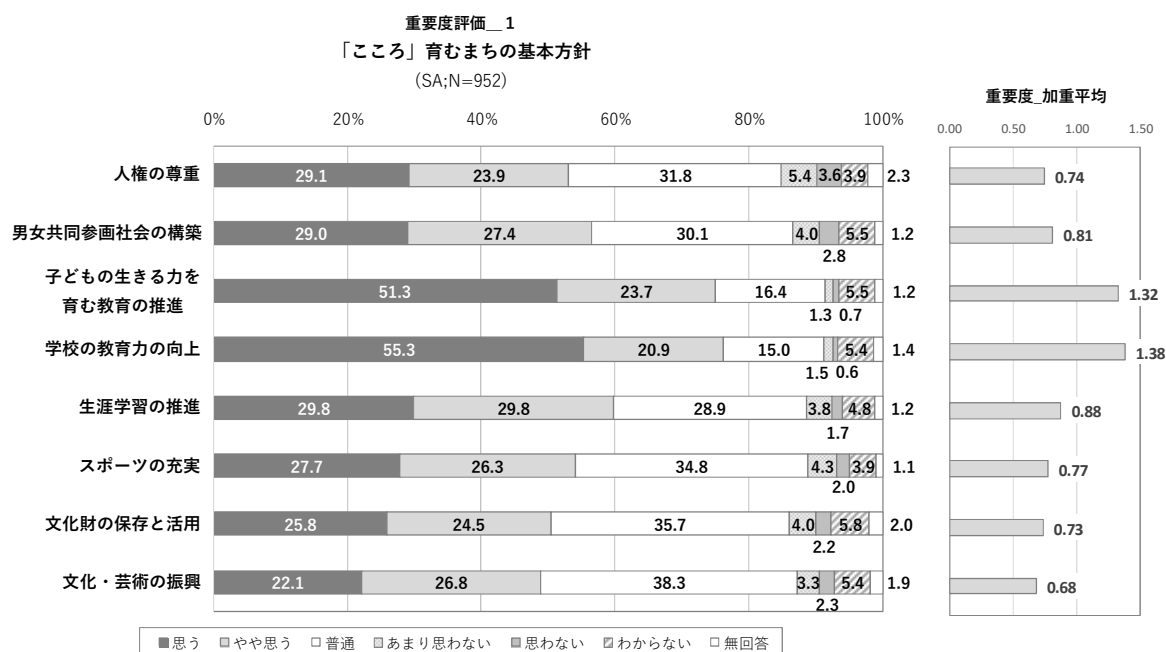
「やや思う」は「生涯学習の推進」が最も多く 29.8%、次いで「男女共同参画社会の構築」が 27.4%などとなっています。

「普通」は「文化・芸術の振興」が最も多く 38.3%、次いで「文化財の保存と活用」が 35.7%などとなっています。

「あまり思わない」は「人権の尊重」が最も多く 5.4%、次いで「スポーツの充実」が 4.3%などとなっています。

「思わない」は「人権の尊重」が最も多く 3.6%、次いで「男女共同参画社会の構築」が 2.8%などとなっています。

「わからない」は「文化財の保存と活用」が最も多く 5.8%、次いで「男女共同参画社会の構築」と「子どもの生きる力を育む教育の推進」が 5.5%などとなっています。



加重平均について：「思う (2)」「やや思う (1)」「普通 (0)」「あまり思わない (-1)」「思わない (-2)」の加重評点を与えて平均点を求めたものである。

②「笑顔」輝くまちの基本方針

「思う」は「安心して子育てができる環境づくり」が最も多く 53.5%、次いで「医療保険制度の適正運用」が 49.6%などとなっています。

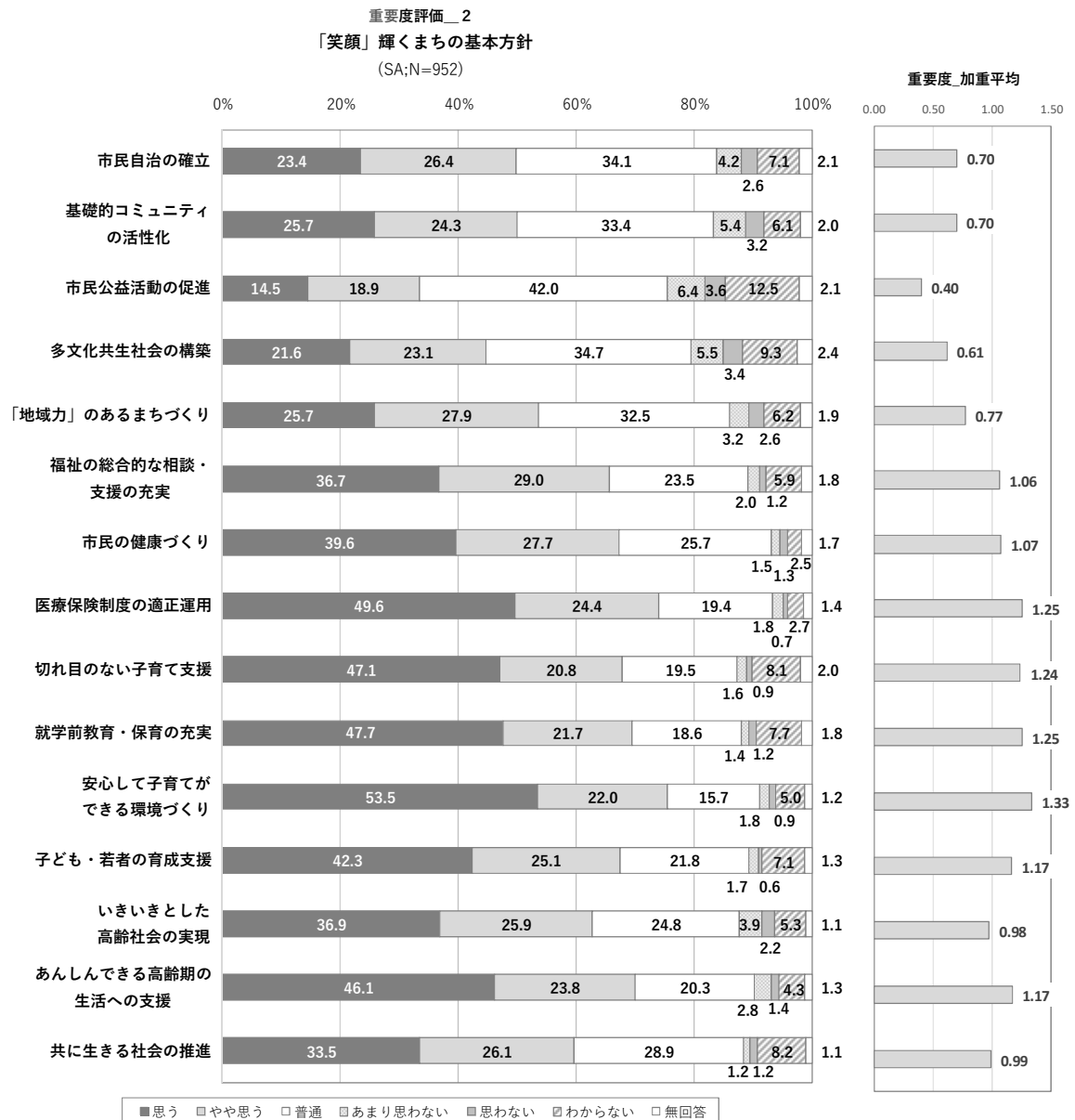
「やや思う」は「福祉の総合的な相談・支援の充実」が最も多く 29.0%、次いで「『地域力』のあるまちづくり」が 27.9%などとなっています。

「普通」は「市民公益活動の促進」が最も多く 42.0%、次いで「多文化共生社会の構築」が 34.7%などとなっています。

「あまり思わない」は「市民公益活動の促進」が最も多く 6.4%、次いで「多文化共生社会の構築」が 5.5%などとなっています。

「思わない」は「市民公益活動の促進」が最も多く 3.6%、次いで「多文化共生社会の構築」が 3.4%などとなっています。

「わからない」は「市民公益活動の促進」が最も多く 12.5%、次いで「多文化共生社会の構築」が 9.3%などとなっています。



③「暮らし」支えるまちの基本方針

「思う」は「犯罪のないまちづくり」が最も多く 57.5%、次いで「災害に強いまちづくり」と「水の安定供給」が 47.8%などとなっています。

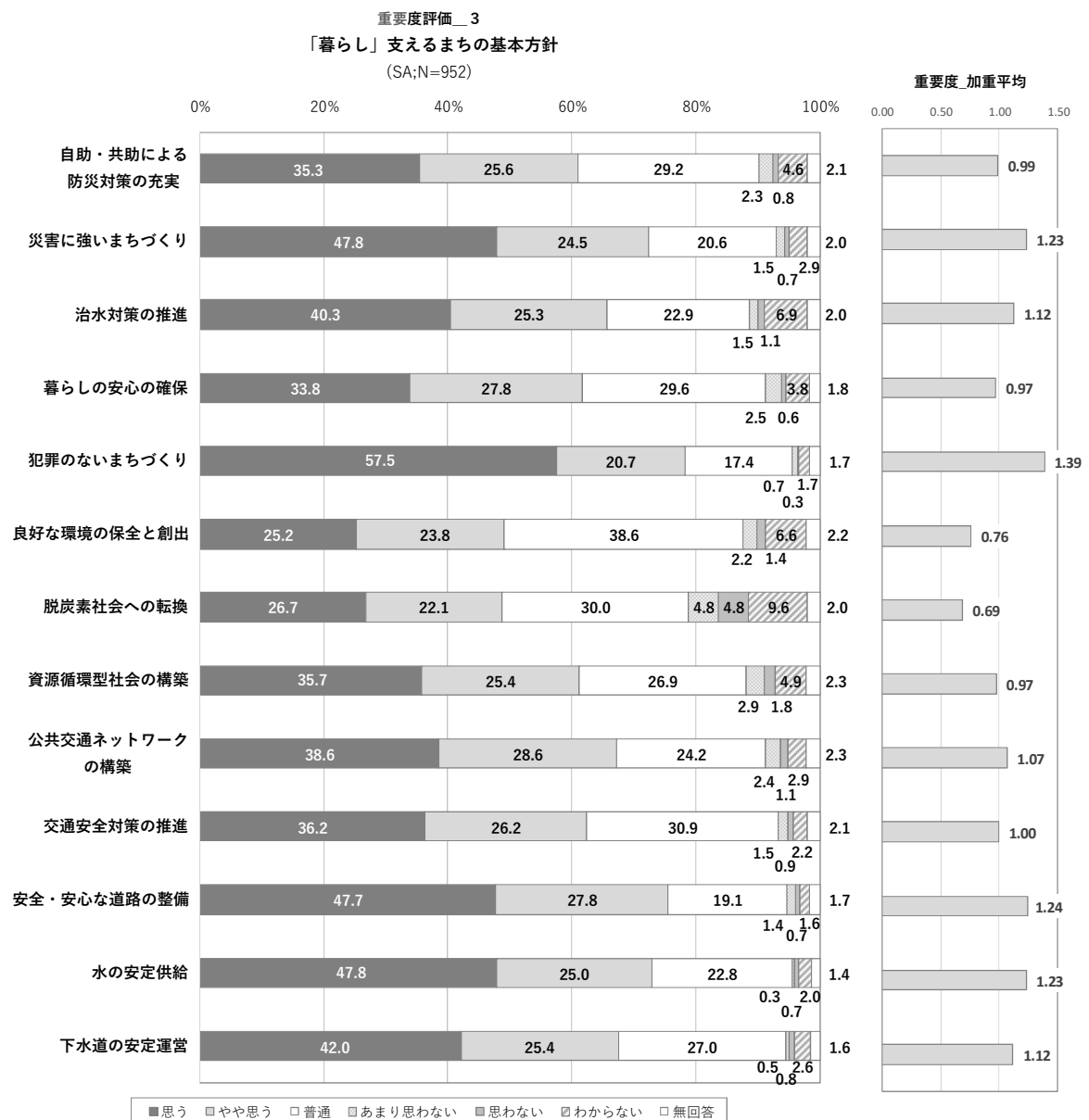
「やや思う」は「公共交通ネットワークの構築」が最も多く 28.6%、次いで「暮らしの安心の確保」と「安全・安心な道路の整備」が 27.8%などとなっています。

「普通」は「良好な環境の保全と創出」が最も多く 38.6%、次いで「交通安全対策の推進」が 30.9%などとなっています。

「あまり思わない」は「脱炭素社会への転換」が最も多く 4.8%、次いで「資源循環型社会の構築」が 2.9%などとなっています。

「思わない」は「脱炭素社会への転換」が最も多く 4.8%、次いで「資源循環型社会の構築」が 1.8%などとなっています。

「わからない」は「脱炭素社会への転換」が最も多く 9.6%、次いで「治水対策の推進」が 6.9%などとなっています。



④「魅力」あふれるまちの基本方針

「思う」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く 29.8%、次いで「都市と住環境の質・魅力向上」が 28.7%などとなっています。

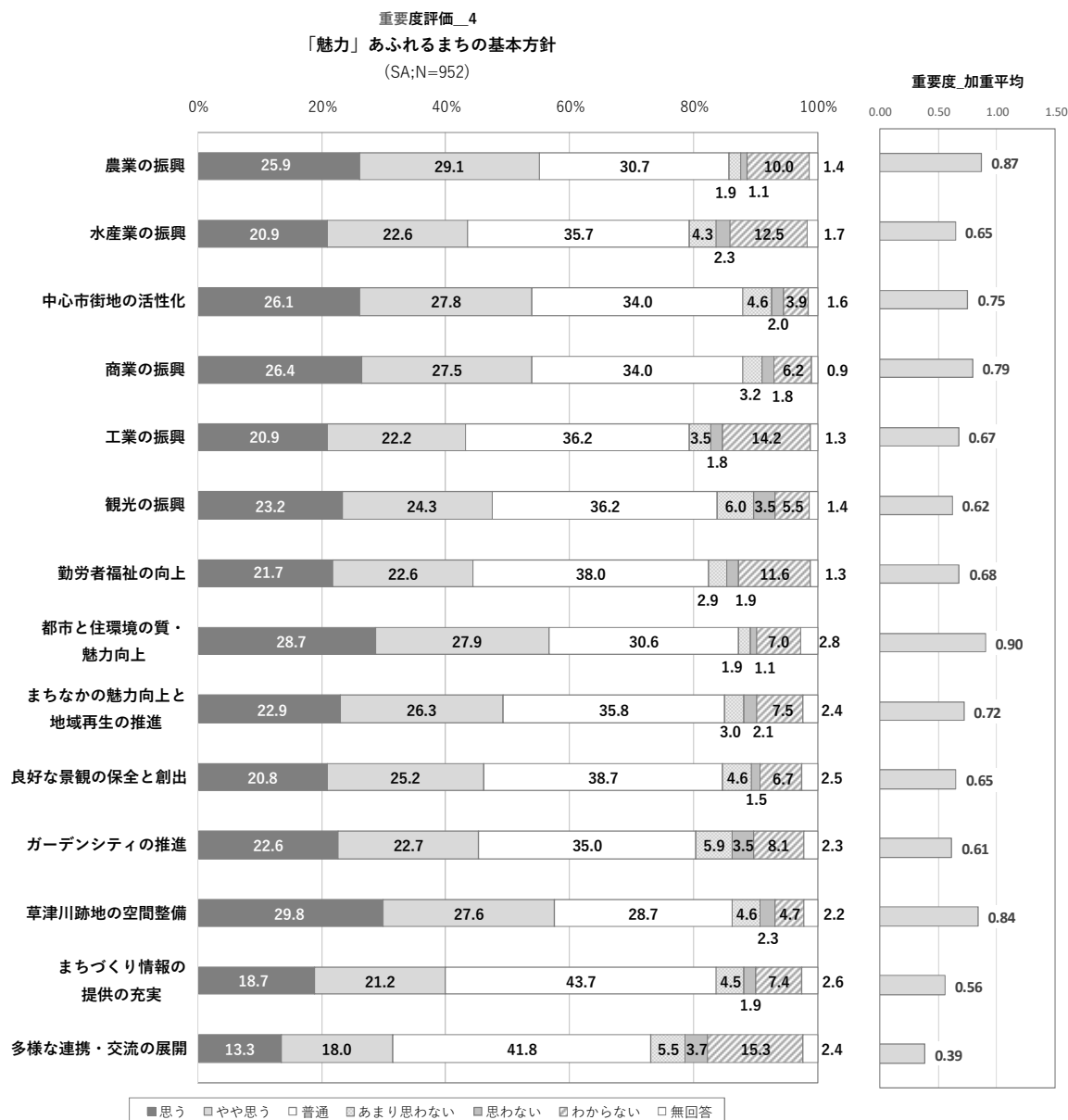
「やや思う」は「農業の振興」が最も多く 29.1%、次いで「都市と住環境の質・魅力向上」が 27.9%などとなっています。

「普通」は「まちづくり情報の提供の充実」が最も多く 43.7%、次いで「多様な連携・交流の展開」が 41.8%などとなっています。

「あまり思わない」は「観光の振興」が最も多く 6.0%、次いで「ガーデンシティの推進」が 5.9%などとなっています。

「思わない」は「多様な連携・交流の展開」が最も多く 3.7%、次いで「観光の振興」と「ガーデンシティの推進」が 3.5%などとなっています。

「わからない」は「多様な連携・交流の展開」が最も多く 15.3%、次いで「工業の振興」が 14.2%などとなっています。



⑤ 「未来」への責任の基本方針

「思う」は「市民から信頼される市政運営」が最も多く 38.2%などとなっています。

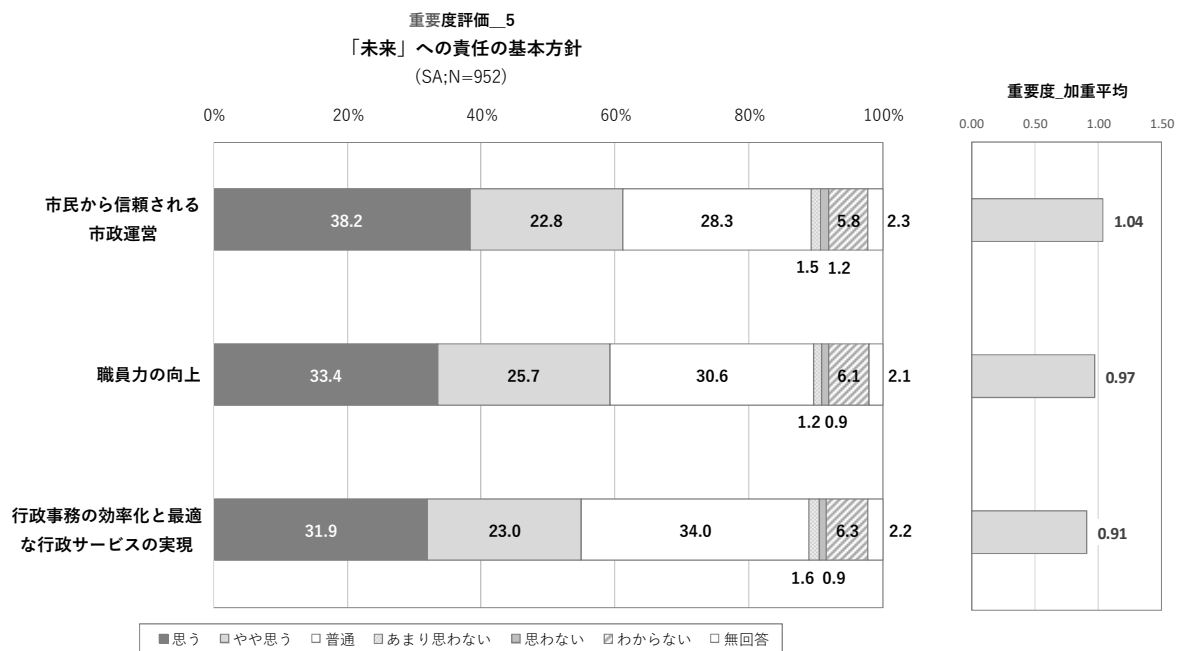
「やや思う」は「職員力の向上」が最も多く 25.7%などとなっています。

「普通」は「行政事務の効率化と最適なサービスの実現」が最も多く 34.0%などとなっています。

「あまり思わない」は「行政事務の効率化と最適なサービスの実現」が最も多く 1.6%などとなっています。

「思わない」は「市民から信頼される市政運営」が最も多く 1.2%などとなっています。

「わからない」は「行政事務の効率化と最適なサービスの実現」が最も多く 6.3%などとなっています。

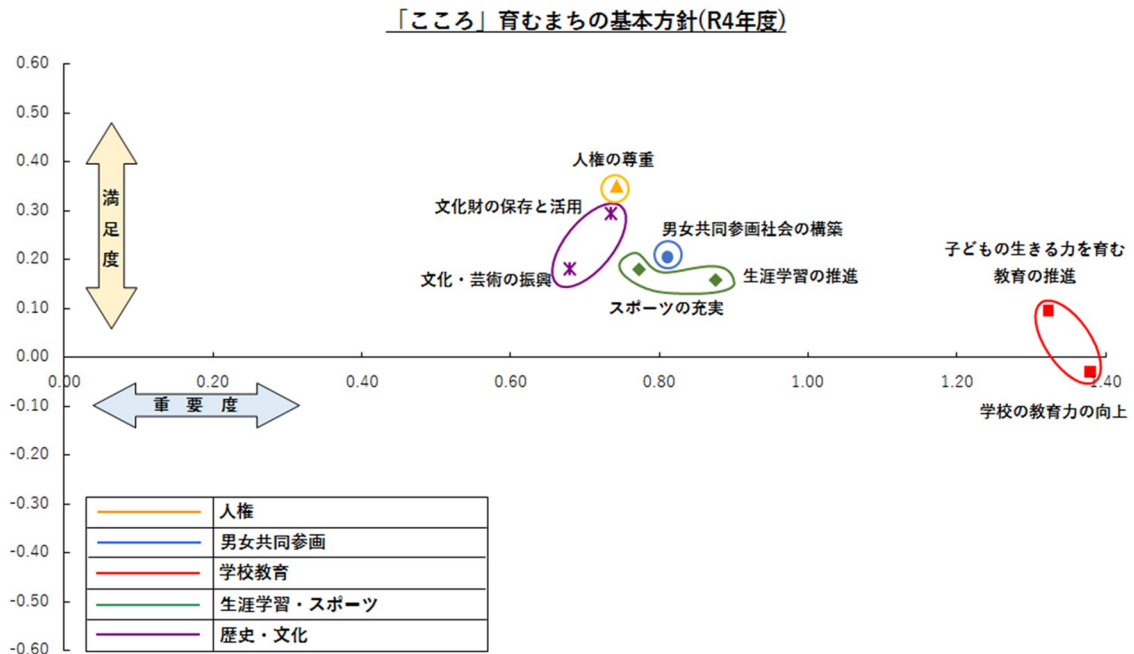


(4) 基本方針別にみる満足度と重要度

① 「こころ」育むまちの基本方針

「こころ」育むまちの基本方針のうち、「学校の教育力の向上」の分野は他の分野と比較し、重要度が最も高いですが、満足度は最も低くなっています。

また人権意識の高まりからか「人権の尊重」の基本方針は、重要度もある程度高く、満足度は最も高くなっています。

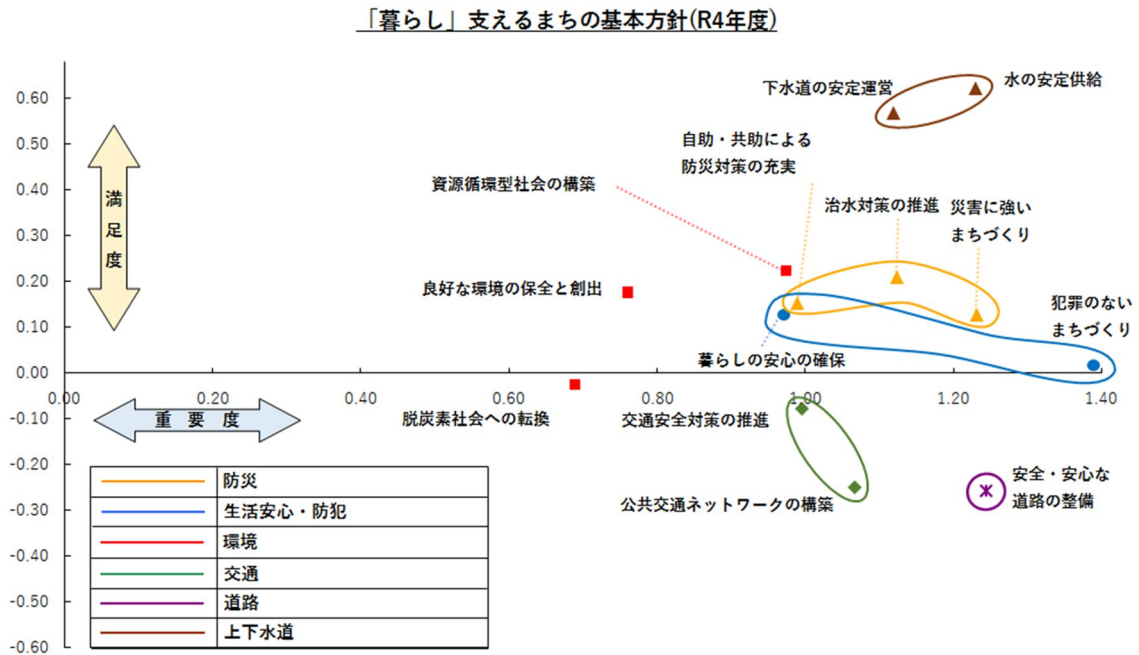


③ 「暮らし」を支えるまちの基本方針

「暮らし」を支えるまちの基本方針のうち、「上下水道」の分野は満足度が他の分野よりかなり高くなっています。

一方、「生活安心・防犯」の分野は、重要度が高いにもかかわらず、満足度は、あまり高くありません。

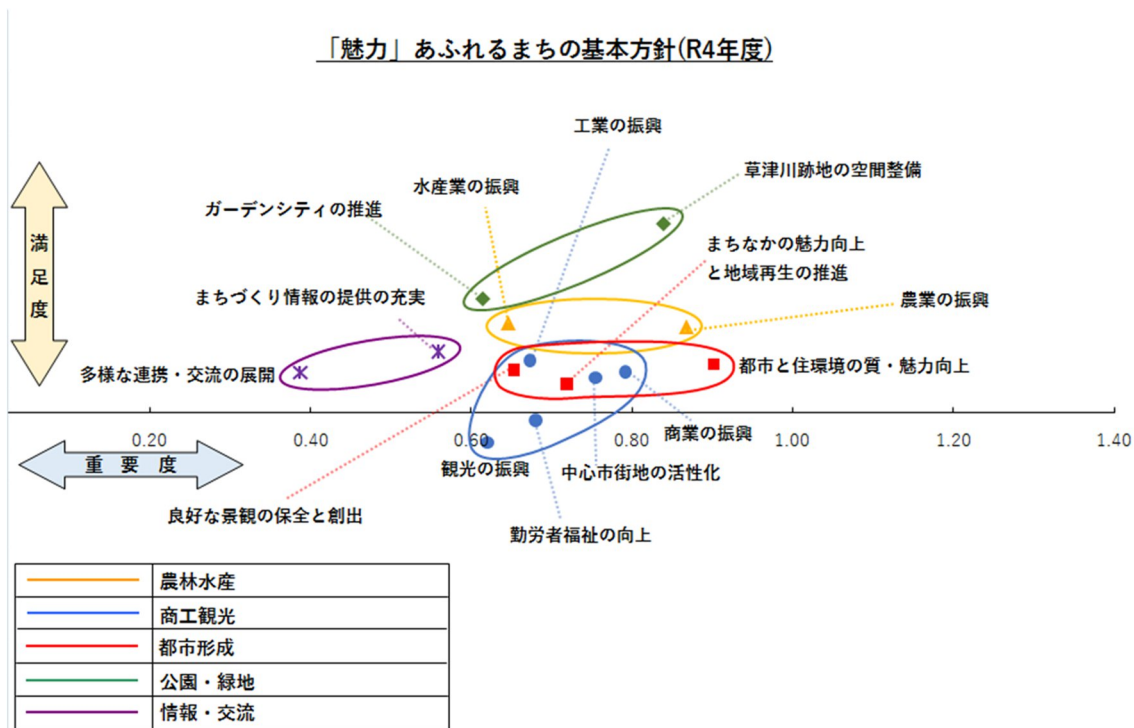
「交通」と「道路」の分野は、満足度がマイナスを示しています。



④「魅力」あふれるまちの基本方針

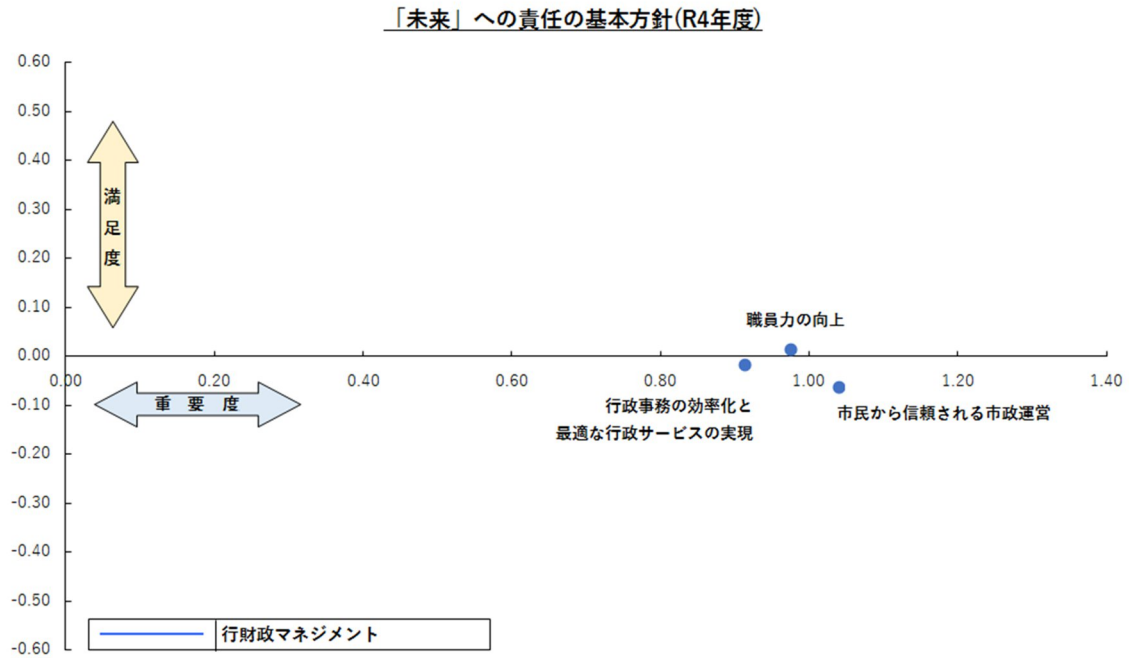
「魅力」あふれるまちの基本方針のうち、「公園・緑地」の分野では満足度が高く、「商工観光」の分野は「観光の振興」で満足度がかなり低くなっています。

「情報・交流」の分野では重要度が他の分野と比べてかなり低くなっています。



⑤ 「未来」への責任のための基本方針

「市民から信頼される市政運営」では重要度の高さに比べて満足度がかなり低くなっています。



(5) まちの住み心地や日常の生活行動など

①まちの住み心地など

「そう思う」は「総合的に住みやすいまちである」が最も多く 40.8%、次いで「買物をする環境が整っている」が 35.0%などとなっています。

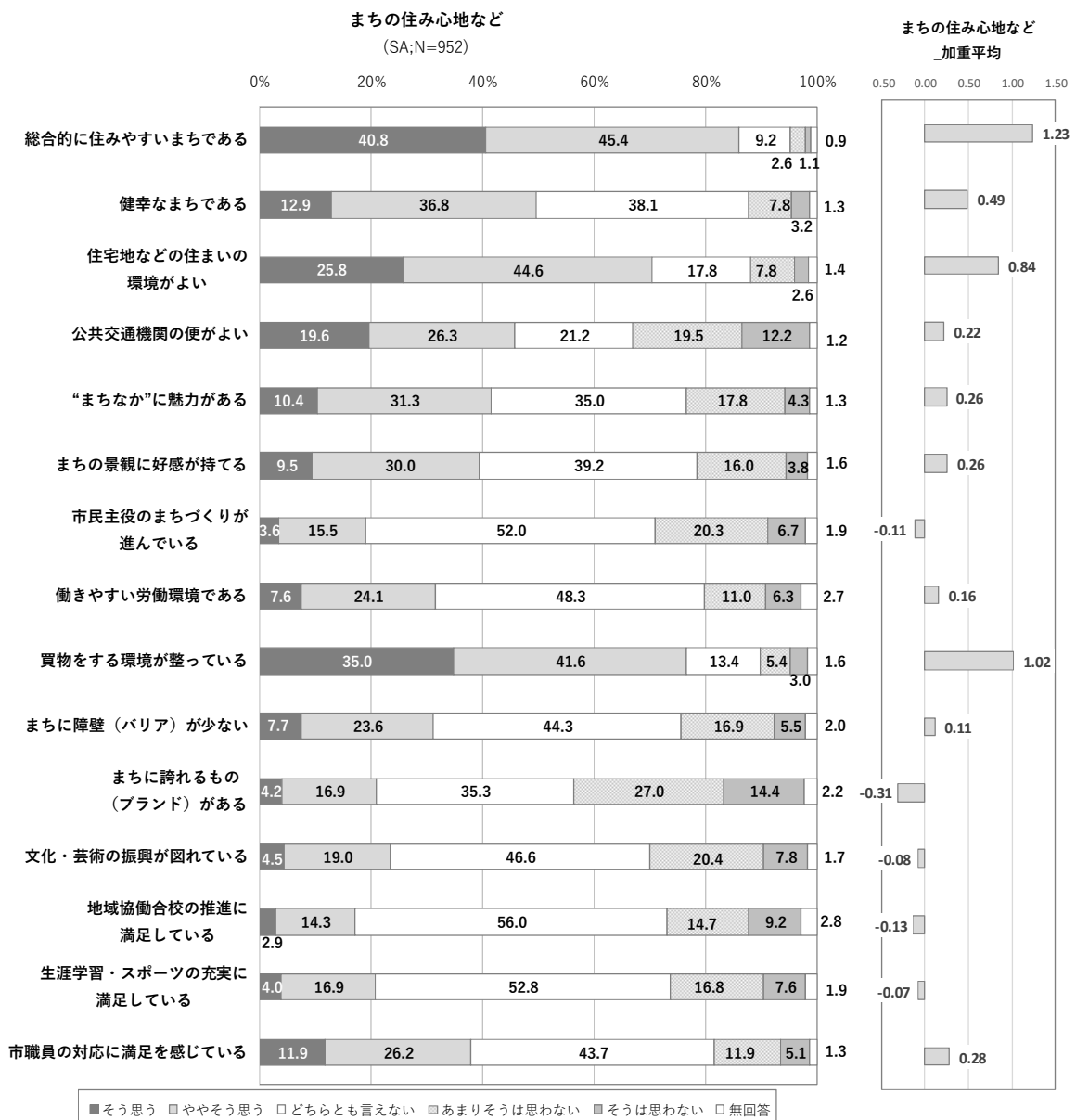
「ややそう思う」は「総合的に住みやすいまちである」が最も多く 45.4%、次いで「住宅地などの住まいの環境がよい」が 44.6%などとなっています。

「どちらとも言えない」は「地域協働学校の推進に満足している」が最も多く 56.0%、次いで「生涯学習・スポーツの充実に満足している」が 52.8%などとなっています。

「あまりそうは思わない」は「まちに誇れるもの（ブランド）がある」が最も多く 27.0%、次いで「文化・芸術の振興が図れている」が 20.4%などとなっています。

「そうは思わない」は「まちに誇れるもの（ブランド）がある」が最も多く 14.4%、次いで「公共交通機関の便がよい」が 12.2%などとなっています。

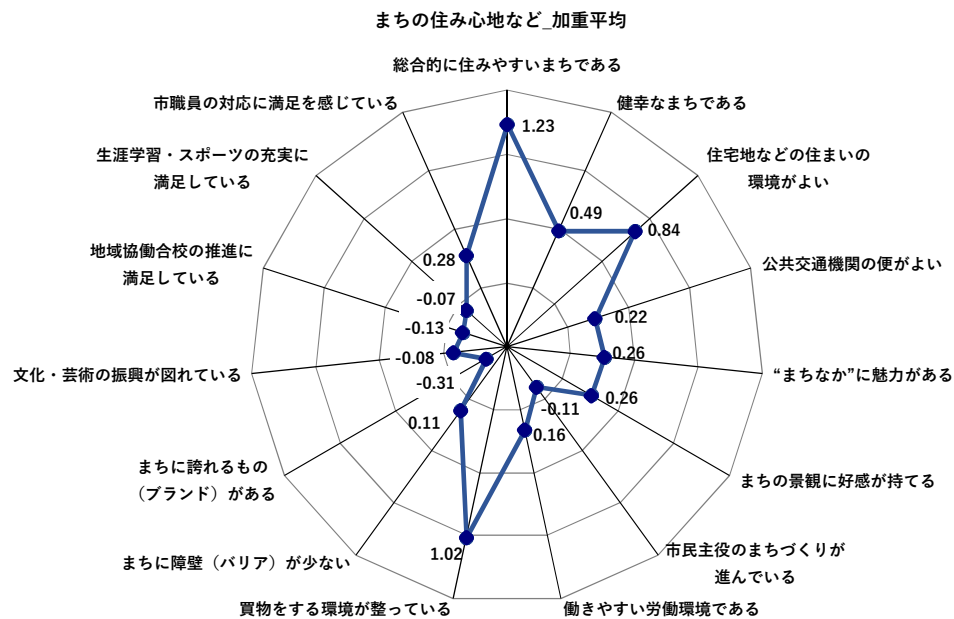
「総合的に住みやすいまちである」については、「ややそう思う」が最も多く 45.4%、次いで「そう思う」が 40.8%などとなっています。



【加重平均】

「総合的に住みやすいまちである」「買物をする環境が整っている」「住宅地などの住まいの環境がよい」において評価が高くなっています。

「まちに誇れるもの（ブランド）がある」「地域協働学校の推進に満足している」「市民主役のまちづくりが進んでいる」においては評価が低くなっています。



加重平均について：「そう思う（2）」「ややそう思う（1）」「どちらともいえない（0）」「あまりそうは思わない（-1）」「そうは思わない（-2）」として全体の平均値を算出したものである。

②日常の生活行動など

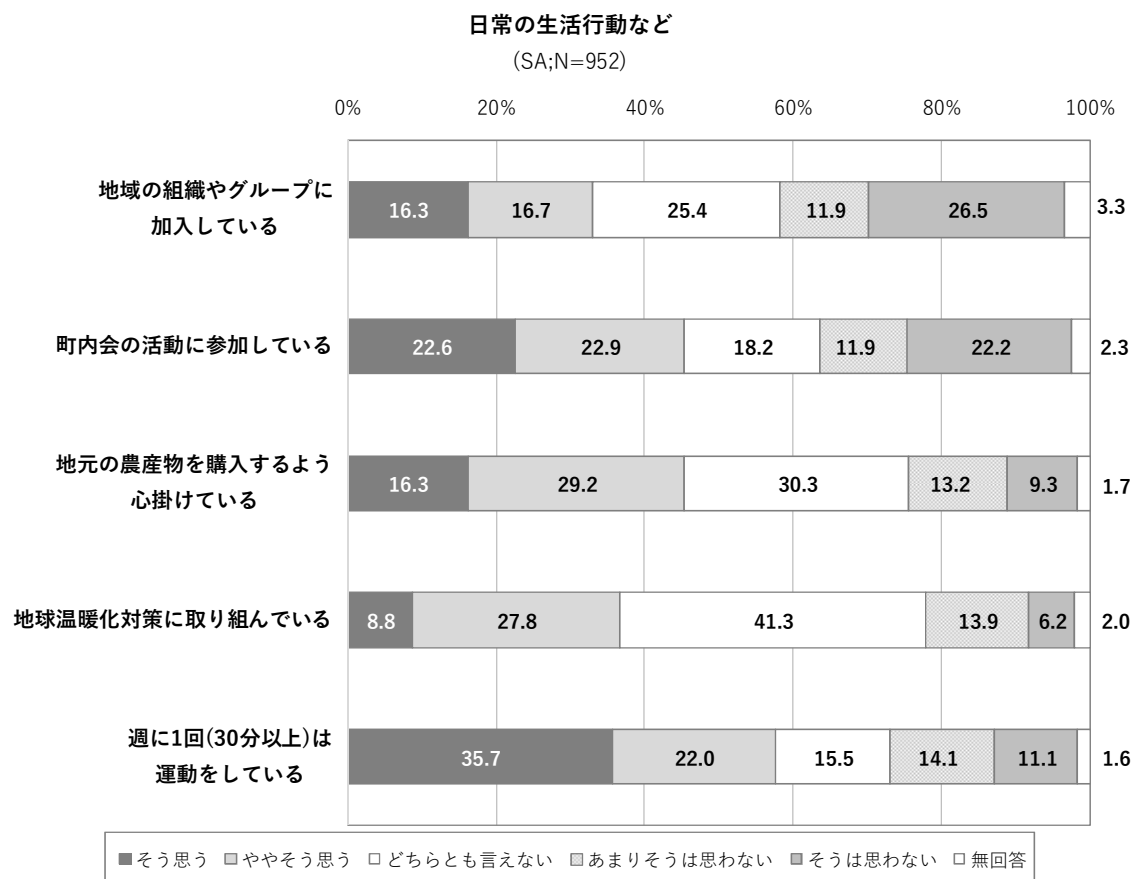
「そう思う」は「週に1回(30分以上)は運動をしている」が最も多く35.7%、次いで「町内会の活動に参加している」が22.6%などとなっています。

「ややそう思う」は「地元の農産物を購入するよう心掛けている」が最も多く29.2%、次いで「地球温暖化対策に取り組んでいる」が27.8%などとなっています。

「どちらとも言えない」は「地球温暖化対策に取り組んでいる」が最も多く41.3%、次いで「地元の農産物を購入するよう心がけている」が30.3%などとなっています。

「あまりそうは思わない」は「週に1回(30分以上)は運動をしている」が最も多く14.1%、次いで「地球温暖化対策に取り組んでいる」が13.9%などとなっています。

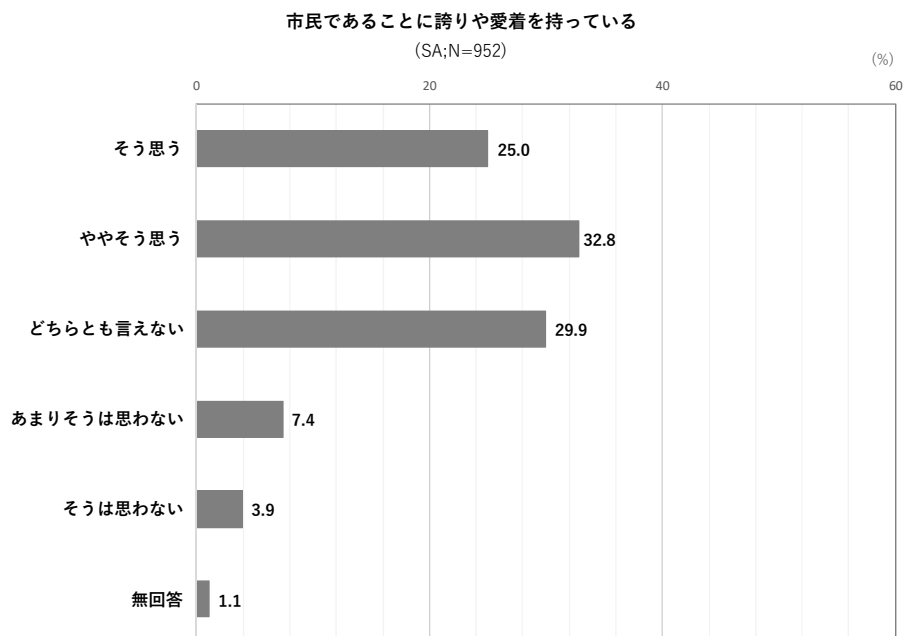
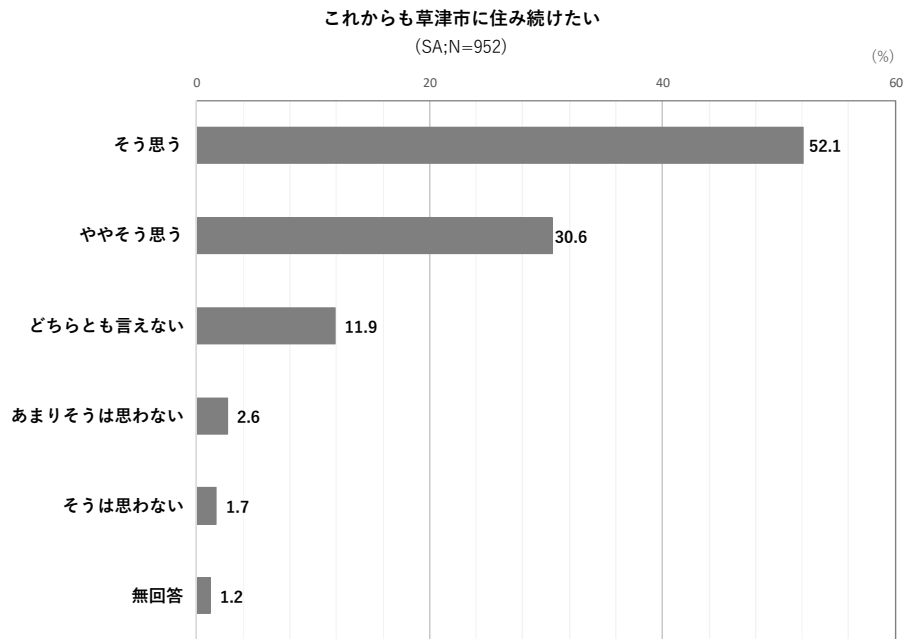
「そうは思わない」は「地域の組織やグループに加入している」が最も多く26.5%、次いで「町内会の活動に参加している」が22.2%などとなっています。



③市民であることの誇りや定住意向

「これからも草津市に住み続けたい」については、「そう思う」が最も多く 52.1%、次いで「ややそう思う」が 30.6%などとなっています。

「市民であることに誇りや愛着を持っている」については、「ややそう思う」が最も多く 32.8%、次いで「どちらとも言えない」が 29.9%などとなっています。



(6) SDGs (持続可能な開発目標)

SDGs (持続可能な開発目標) の17の目標への関心

「すべての人に健康と福祉を」が最も多く 14.7%、次いで「住み続けられるまちづくりを」が 12.7%、「質の高い教育をみんなに」が 8.4%などとなっています。

